

# みやけの風

## 第 211 号

平成17年(2005年)2月19日(土)発行  
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター  
 発行責任者：上原 泰男  
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階  
 東京ボランティア・市民活動センター 気付  
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646  
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

### 三宅島支援センター三宅島事務所の電話番号が決まりました！

住所：三宅島三宅村伊豆1054 伊豆老人福祉館

電話：04994-2-1501 FAX：04994-2-7131

#### みんなの声

#### ちょっぴり不安が過ぎる帰島

帰島に関するニュースが毎日紙面をにぎわしている。不安もあるけれど、特に我が家は高濃度地区で、自宅に居住できない。でも、素直に「帰りたい」と感じます。

昨年の12月の高濃度地区説明会では、あまりにも納得のいかない回答ばかりで、正直、帰島に関して足が重くなっていましたが、2月になり、東京都の義援金も、高濃度地区への追加が決まり、大変有り難いことだと感謝しています。

ただ、高濃度地区の人でも収入がオーバーすれば、村の住宅も入居がダメとのうわさもチラホラ……。2月15日の村営住宅の抽選会が終わっても、何の連絡もなくどこへ入居できるか、いつ帰島日が決まるか、落ち着かず、気持ちが安定しないで胃がキリキリしますが、荷物の整理をしながら、一日も早く島の仲間達と障害者福祉活動を再開したいと願っています。  
 (西東京市 北川 由紀)

#### 大分から善意が届きました

先日、大分県立佐伯豊南高等学校の生徒さんが、先生といっしょに、飯田橋の支援センター東京事務所を訪ねてくださいました。

今回の訪問は、高校の文化委員会で三宅島の噴火災害に対する募金活動をして、その募金を支援センターへ寄付してくださいました。

金額は、15,224円。次々に起こった自然災害のなかで、今回特に、今なお続く困難を乗り越え、ようやく避難解除がされた三宅島のために募金をしようと思った生徒さん達から、メッセージをお預かりしました。今後も、学校で、街頭で、三宅島の支援募金を続けていくとのことでした。

『三宅島避難勧告の解除に関する、市民激励メッセージ』  
 ~自然災害についての被災者支援復興活動に向けた高校生の活動として~

県立佐伯豊南高等学校  
 文化委員会生徒有志等

三宅島の皆さんが、一刻も早く、全員島に帰られることを祈っています。

この青く輝く三宅島に、本当の意味での安定・豊かな生活が訪れることを、私たちは願っています。

「自然災害」。この言葉にどれだけの人が苦しんだか。安定・平和を誓って、手を取り合って頑張ってきた三宅島の人々。私たちは全力で、今後の復興を、支援しなければならぬと思う。

三宅島島民、頑張り！！全国の人たちが応援しています。

ささやかな額の募金しか出来ませんが、全島民が帰還できるように祈っています。高校生の僕たちにできることは限られて

いますが、一刻も早い、完全復旧の実現を祈ります。

三宅島の人たちの願いをかなえるため、全国の人々が、一丸となった協力活動を行いましょう。

三宅島の安定・平和を考えて、全国民で協力・支援を。

未来の日本、未来の三宅島のために、そして世界の人々のためにも、災害からの復旧支援に全体で協力する必要がある。

**三宅島災害・東京ボランティア支援センター三宅島事務所より  
皆さまの「帰島を島で待っています」**

うぐいすの声を聞き、強い西風に吹かれて、時に下りるガスに気を使いながら、ボランティアは各地区で引越しの手伝いを行い、神着を中心に降灰除去作業、阿古・伊豆・神着でのヤブ取り、茅刈りと活動が続けられています。

各地とも、まだ帰島者の数は少なく、ボランティアの訪問と作業は、皆さまの大歓迎を受け、互いに話し、いっしょに笑い合うことが医者の方よりもよい薬だと、笑い合っています。今後帰島する方にも、お気軽にセンターへのご連絡をお待ちいたしております。

(三宅島伊豆 三宅島支援センター三宅島事務所にて 上原泰男)

お引越し・帰島支援ボランティアに関するお問合せは  
三宅島支援センター三宅島事務所 TEL：04994-2-1501  
三宅島三宅村伊豆1054 伊豆老人福祉館内  
三宅島支援センター東京事務所 TEL：03-3260-7573  
新宿区神楽河岸1-1セントラルプラザ10F

**三宅島帰島支援ボランティア活動報告**

活動日 05年2月18日(金)くもり時々小雨

報告者 前田治孝

川上班 川上・山内・能登谷・前田・藤本・青柳

< 活動内容 >

除灰作業\*\*\*さん宅 土嚢 250袋分

本格的な帰島を前にして、準備のため帰って来られていました。

水道も使えるようになっており、今日の作業中には浄化槽の汲み取り用のバキュームカーが来て処理していた。昨日は、少し臭い程度で4年半も放置しても大丈夫であったと奥さんから聞きました。

依頼された作業は裏の離れに通じる庭の除灰でした。自衛隊が屋根の灰を下に落とした状態になっており、10cm程度盛り上がった部分もあったが、全体として3cmくらい

あり一面に芝が生い茂っていましたが、その下に、黒い土があるところまで芝もろとも剥ぎ取り、土嚢にひたすら詰める作業でした。

ご主人も出てきて細かい部分の作業と一緒にしていました。

食事はその離れでとりましたが、メンバーが2000年8月のカレンダーに気がつき、あらためて時間があの時のままで停止していることを知りました。畳も捨てるようだと聞きましたが、もったいない話しです。

今日が川上班としては最後の仕事となり、久々に汗をかいて着替えにセンターに戻ったメンバーもいました。

予定通りに作業は終わり、奥さんの入れていただいたお茶は美味しかった。

さつまいもの入ったもちの差し入れがあり、これも美味しかった。